



唐崎松
(からさきのまつ)

兼六園の中で最も枝ぶりが見事な松である。13代藩主・斉泰が琵琶湖畔の唐崎から種子を取りよせて美生から育てた黒松である。11月1日に雪吊り作業を始める。北陸に冬の訪れを告げる風物詩となっている。



兼六園の
花井の数は
超えるのか
一帯の
特徴を



曲水

園内を流れる曲水の豊かな水は、1631年の寛永の大火の翌年、3代藩主・利常の命により町人坂屋兵四郎が、城の「防火用水」としてつくった旅巳用水を利用している。両岸には桜が植えられ、4月の開花時には杜若の若緑とともに美しい景観を楽しめる。



石川門

石川門は三十軒長屋とともに旧金沢城の数少ない遺構の一つである。建立されたのは1788(天明8)年で、国の重要文化財に指定されている。白く輝いている屋根は鉛瓦である。



夕顔亭

園内に現存する最も古い建物で、1774(安永3)年に建てられた茶室である。茶席の次の間の地壁に夕顔(瓠瓜)の透があるので夕顔亭という亭名がついている。

時雨亭(しぐれいてい)

5代藩主・綱紀がはじめて本園を作庭した頃からあった建物で、蓮池御亭と呼ばれていた。それは6代藩主・吉徳によって建て替えられたが、藩政後期には時雨亭とも呼ばれ、今の噴水の前にあった。明治のはじめに取り壊されたが2000(平成12)年3月にこの地に再現させたものである。



花見橋

花見橋から眺める花は見事である。桜、ツツジやカキツバタが花をつける時期が特に美しい。



根上松

梅林

明治記念之橋



噴水

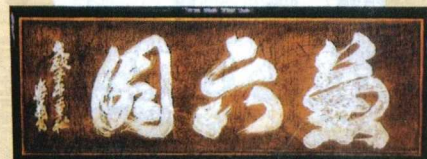
この噴水は上にある霞ヶ池を水源としており、自然の水圧であがっている。通常、水の高さは3.5メートルで、霞ヶ池の水位の変化によって変わる。1861(文久元)年、金沢城二の丸の居間先に噴水があがっているが、兼六園の噴水はその試作といわれている。日本最古といわれている噴水である。



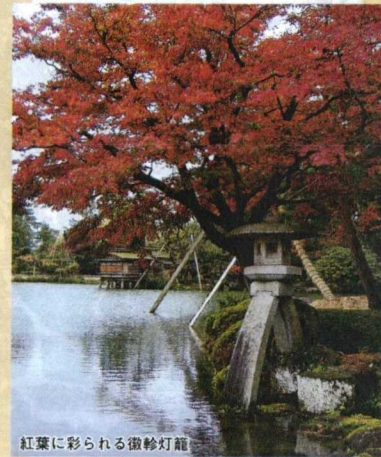
雁行橋(がんこうばし)

11枚の赤戸室石を使って雁が列をなして飛んでいる姿に作られているので雁行橋と呼んでいる。また、一枚一枚の石が亀甲の形をしているので別名を亀甲橋ともいう。

文化財指定庭園 特別名勝



松平定信筆「兼六園」の扁額
県立伝統産業工芸館にてご覧いただけます。



紅葉に彩られる徴軒灯籠

石川県金沢市・兼六園管理事務所

金沢市丸の内1番1号

TEL (076) 234-3800

FAX (076) 234-5292

<http://www.pref.shikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/>

兼六園は江戸時代の代表的林泉回遊式大名庭園の特徴をそのままに残している。

もともと兼六園は金沢城の外部として城に属した庭であった。庭としての歴史は、城に面した傾斜地が古い。加賀藩5代藩主・前田綱紀が1676（延宝4）年、この地にあった作事所を城内に移し、蓮池御殿を建て、その周辺を作庭した。これが本園の始まりで、当時、蓮池庭などと呼ばれていた。

1759（宝暦9）年の金沢大火で、蓮池庭も一部焼失、荒廃した。11代藩主・治隆は復興に取り組み、1774（安永3）年に今みる夕顔亭や茶室を築造している。

一方、東南の平坦地である千歳台一带は、7人の家臣の屋敷があったり、藩校が建てられるなどの変遷があったが、1822（文政5）年には12代藩主・斉広の家臣の居所「竹沢御殿」が完成している。その庭には辰巳用水を取水入れて曲水をつくり、各種の石橋を架けた。竹沢御殿の完成した年に、中国宋の時代の詩人・李格非の書いた「洛陽名園記」の文中から採って、宏父・蘭蓬、人力・普古、水泉・眺望の六勝を兼備するという意味で「兼六園」が命名された。

竹沢御殿完成後、わずか2年で斉広は死した。同御殿を取り壊した13代藩主・斉泰は、散ヶ池を掘り広げ、曲水の新たな取り入れも行い、以前からあった蓮池庭と調和するよう作庭した。

こうして、今みる雄大な回遊式庭園の基本的な構図はできあがった。廃藩後、1874（明治7）年5月7日、兼六園は一般開放された。1922（大正11）年3月8日に「史跡名勝天然記念物保存法」の規定により、「名勝」の指定を受けた兼六園は1950（昭和25）年、現「文化財保護法」により、改めて「名勝」の指定を受けた。

さらに、1985（昭和60）年3月20日、「特別名勝」となった。

兼六園案内図

- 所在地 金沢市兼六町1番
- 総面積 約11.4ha
- 名勝指定 大正11年3月8日
- 特別名勝指定 昭和60年3月20日
- 樹木の種類 約160種
- 樹木の数量 約8,200本



開園時間：3月1日～10月15日 7:00～18:00
 (年中無休) 10月16日～2月末日 8:00～17:00
 入園料：大人310円(18歳以上) 団体：大人250円
 小人100円(6歳～17歳) (30名以上) 小人 80円